

公開訓練試験併催（BHを含む）

後援 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ (JKC) / 大野町

実施要領

1 出陳規定

- (1) 本会会員が所有する、生後満9カ月1日以上(2023年8月25日及びそれ以前の生まれ)の本会登録犬(アペンディクス登録犬を含む)に限ります。
- (2) 本会会員所有の非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬は、生後満9カ月1日以上であれば家庭犬準初等科・特別犬の部・オビディエンスビギナーⅠ～Ⅱに限り出陳することができます。ただし、訓練チャンピオン資格犬にはなりませんので、トレーニングチャンピオン(T.CH.)ポイントカードは付与されません。
- (3) 同一犬の重複出陳については、以下の通りとなります。
 - ① 家庭犬準初等科・初等科・中等科・準高等科・高等科は、連続する2つのクラスまで出陳できます。
※例えば、家庭犬中等科と家庭犬準高等科では同時出陳できませんが、家庭犬中等科と家庭犬高等科では同時出陳することはできません。
 - ② 臭気選別の部・足跡追及の部と家庭犬準初等科・初等科・中等科・準高等科・高等科・服従スペシャルのうち1つのクラスに出陳できます。
 - ③ 家庭犬中等科・準高等科・高等科・臭気選別の部・足跡追及の部のうち1つのクラスと、オビディエンスⅠ～Ⅲのうち1つのクラスに出陳できます。
 - ④ ラリーオビディエンスⅠと特別犬を除く全てのクラスのうちの1つのクラス。ただし、ラリーオビディエンスⅠに出陳する非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬は家庭犬準初等科・特別犬の部・オビディエンスビギナーⅠ・オビディエンスビギナーⅡのうち1つのクラスに出陳できます。
 - ⑤ オビディエンスビギナーⅠ～Ⅱのうち1つのクラスと、服従スペシャル・オビディエンスⅠ～Ⅲを除く全てのクラスのうちの1つのクラスに出陳できます。
 - ⑥ 服従スペシャルと中等科・準高等科・高等科・オビディエンスⅠ～Ⅲのうち1つのクラスに出陳できます。
 - ⑦ 同一犬が、複数のトレーニングチャンピオン(T.CH.)ポイントカード及びメジャー・トレーニングチャンピオン(M.T.CH.)ポイントカードを取得した場合、1クラスのみ有効とします。家庭犬とオビディエンスで重複した場合も同様に1クラスのみ有効とします。有効とするポイントは出陳者の方が選択してください。
- (4) 伝染病・皮膚病など健康上の危惧のある犬、並びに咬癖犬・妊娠犬の出場はご遠慮下さい。また、発情犬は、各クラスの最後に審査を行います。
- (5) 会場内における事故の責任は、一切所有者といたします。本競技会規定並びに実施要領は別記の通りですが、都合で一部変更する場合があります。

2 申込方法

- (1) 競技会出陳申込
所定の出陳申込書に必要事項を記入し、出陳料1頭1クラスにつき8,000円を添え締切日までに競技会事務局必着となるように申込下さい。
- (2) 公開訓練試験受験申込(BHを含む)
各「訓練試験受験登録申請書」に必要事項を記入し、受験料1科目につき5,400円を添え締切日までに競技会事務局必着となるよう申込下さい。なお、BH(同伴犬訓練試験)については2024年4月22日を受付開始日とし、申込頭数が10頭になり次第締め切らせていただきます。10頭を超えた受付分については、抽選とさせていただきますので予めご了承下さい。※両申込とも競技会当日、会場での申込は受付いたしません。また、FAXでの申込も、受付いたしません。

3 審査規定

- (1) 審査は、JKC公認審査員により厳正公平に採点いたします。
- (2) 競技課目は「訓練試験課目・訓練競技課目に関する規程」により行います。
- (3) 競技はアマチュア指導手の部6種目と一般の部17種目に分けて行います。
- (4) 総合得点が同点の場合は、規定課目の得点の高いものを上位とします。
規定課目の得点も同点の場合は、担当審査員が判定します。
- (5) 審査の結果に対しては異議の申し立ては許されません。
- (6) 各部共、全ての課目は脚側停座に始まり、脚側停座で終わります。これが守られない場合は、減点の対象となります。

4 指導手規定

本競技会出場犬の指導手の参加資格は、本会のクラブ会員並びにその家族とし、次の通りとします。

A. アマチュア指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族(同居の血縁者)の方に限ります。
※本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者(訓練を業とした経歴を持つ者)は、アマチュア指導手の部には出場できません。その認定は中央訓練委員会で行います。

B. 一般指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族(同居の血縁者)の方。
- ② 本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者(訓練を業とした経歴を持つ者)。
- ③ 自己所有犬以外の犬を指導する方。

5 競技課目

■アマチュア指導手の部

第1部 家庭犬準初等科(CDⅠS)

50点 5課目中規定2課目(下記)

- ① 紐付脚側行進(往復常歩) ② 紐付立止

次の13課目のうちから3課目選択

ア、紐付伏臥、イ、紐付行進並びに伏臥、ウ、紐付行進並びに停座、エ、紐付行進並びに立止、オ、紐付障害飛越(片道)、カ、紐付据座、キ、紐付休止、ク、紐付お手・おかわり、ケ、紐付チンチン、コ、紐付くわえて歩く、サ、紐付寝ろ、シ、紐付吠えろ、ス、紐付だっこ

第2部 家庭犬初等科(CDⅠ)

50点 規定5課目(下記)

- ① 紐付脚側行進(往復常歩) ② 紐無し脚側行進(往復常歩) ③ 停座及び招呼④ 伏臥⑤ 立止(紐無し)

第3部 家庭犬中等科(CDⅡ)

100点 10課目中規定7課目(下記)

- ① 紐付脚側行進(往路は常歩・復路は速歩) ② 紐無し脚側行進(往路は常歩・復路は速歩) ③ 停座及び招呼④ 伏臥⑤ 立止(紐無し) ⑥ 常歩行進中の伏臥⑦ 常歩行進中の停座 他3課目

第4部 家庭犬準高等科(CDⅢS)

150点 15課目中規定10課目(下記)

- ①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧ 常歩行進中の立止⑨ 障害飛越(片道)⑩ 休止 他5課目

第5部 家庭犬高等科(CDⅢ)

200点 20課目中規定14課目(下記)

- ①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧ 常歩行進中の立止⑨ 物品持来⑩ 遠隔・停座から伏臥⑪ 障害飛越(片道)⑫ 障害飛越(往復)⑬ 据座⑭ 休止 他6課目

第6部 服従スペシャル

100点 10課目

- ① 紐無し脚側行進(往路常歩、復路速歩) ② 立止(紐無し) ③ 停座及び招呼④ 常歩行進中の伏臥及び招呼⑤ 常歩行進中の立止及び招呼⑥ 物品持来⑦ 遠隔・伏臥から停座⑧ 遠隔・立止から伏臥⑨ 速歩行進中の伏臥⑩ 速歩行進中の停座

実施要領

■一般の部

第7部 家庭犬準初等科 (CD I S)

50点 5課目中規定2課目 (下記)

①紐付脚側行進 (往復常歩) ②紐付立止

次の13課目のうちから3課目選択

ア. 紐付伏臥、イ. 紐付行進並びに伏臥、ウ. 紐付行進並びに停座、エ. 紐付行進並びに立止、オ. 紐付障害飛越 (片道)、カ. 紐付据座、キ. 紐付休止、ク. 紐付お手・おかわり、ケ. 紐付チンチン、コ. 紐付くわえて歩く、サ. 紐付寝ろ、シ. 紐付吠えろ、ス. 紐付だっこ

第8部 家庭犬初等科 (CD I)

50点 規定5課目 (下記)

①紐付脚側行進 (往復常歩) ②紐無し脚側行進 (往復常歩) ③停座及び招呼 ④伏臥 ⑤立止 (紐無し)

第9部 家庭犬中等科 (CD II)

100点 10課目中規定7課目 (下記)

①紐付脚側行進 (往路は常歩・復路は速歩) ②紐無し脚側行進 (往路は常歩・復路は速歩) ③停座及び招呼 ④伏臥 ⑤立止 (紐無し) ⑥常歩行進中の伏臥 ⑦常歩行進中の停座 他3課目

第10部 家庭犬準高等科 (CD IIS)

150点 15課目中規定10課目 (下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ ⑧常歩行進中の立止 ⑨障害飛越 (片道) ⑩休止 他5課目

第11部 家庭犬高等科 (CD III)

200点 20課目中規定14課目 (下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ ⑧常歩行進中の立止 ⑨物品持来 ⑩遠隔・停座から伏臥 ⑪障害飛越 (片道) ⑫障害飛越 (往復) ⑬据座 ⑭休止 他6課目

第12部 服従スペシャル

100点 10課目

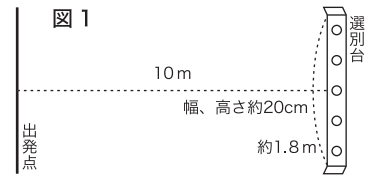
①紐無し脚側行進 (往路常歩、復路速歩) ②立止 (紐無し) ③停座及び招呼 ④常歩行進中の伏臥及び招呼 ⑤常歩行進中の立止及び招呼 ⑥物品持来 ⑦遠隔・伏臥から停座 ⑧遠隔・立止から伏臥 ⑨速歩行進中の伏臥 ⑩速歩行進中の停座

第13部 特別犬の部 (非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬)

家庭犬中等科の課目内容とする。

第14部 臭気選別自臭の部 (図1参照)

第15部 臭気選別他臭の部 (図1参照)



- 10m前方の選別台にある5個の布片の中から、1個の本臭物品を持来する。
- 1頭の犬が連続4回実施する、4回成功した犬をCHグループとし2次作業を行う。
- 物品を台上に配置するときは、人犬共に後ろ向きになる。
- 作業時間は、本臭を嗅がせ始めてから1分以内とする。
- 決勝のための2次作業以降は、ビニール、箸、紙等を異物品として使用することがあり、犬の前後動作も採点する。

第16部 足跡追及自臭の部

第17部 足跡追及他臭の部

第18部 オビディエンスビギナー I (別紙参照)

第19部 オビディエンスビギナー II (別紙参照)

第20部 オビディエンス I (別紙参照)

第21部 オビディエンス II (別紙参照)

第22部 オビディエンス III (別紙参照)

★オビディエンス競技のダンベルは各自でご用意ください。

複数使用するクラスは、同一の物を準備してください。

第23部 ラリーオビディエンス I (別紙参照)

実施要領

6 注意事項

(1)審査に関するご注意

- ①作業中とは入場から退場までをいいます。作業中としての審査は、課目と課目の間も対象になります。
- ②犬の首輪は、バンダナ、チェーン、カラーなどを含めて、一つだけの装着とします。
- ③指導手はポシエット類の装着はできません。
- ④ラッピングされた状態での出陳は認められます。また、ラッピングの箇所や数については制限いたしません。

(2)各課目に共通したご注意

- ①規定課目を行う場合は、各動作を1声符のみで完全に行われた場合を満点とし、視符を使った場合は最小単位の減点があります。(前進、障害を除く)
- ②作業中、逸走した場合、その課目は0点となります。呼び出してすぐ戻ったものは次の課目に進めます。2回逸走した場合は以降の作業は中止となります。(ただし過度の逸走は、1回でも作業中止となる場合があります。)
- ③指導手がボール、えさ等を持って作業した場合は失格となります。
- ④作業中の大便、小便は大きな減点となります。
- ⑤審査員(またはスチュワード)の指示で命令をしなければならない時に、指示前にした場合は減点となります。
- ⑥作業中に不自然な、または余分な声視符、並びに誘導的動作は減点の対象となります。
- ⑦指導手の命令前に犬が動作した場合は、減点となります。
- ⑧作業中犬の首輪を持った場合は減点となります。(選別作業は除く。)
- ⑨作業会場の入場から退場まで、犬に対する体罰は許されず、失格もあります。
- ⑩各課目の最後の脚側停座は、「アトエ」または「スワレ」の1声符のみで完全に行われた場合にのみ、満点となります。それ以上の声視符は使用毎に最小単位の減点があります。
- ⑪対面して行う作業は、必ず犬を一旦停止させ、審査員の指示により、犬を呼び脚側停座で終わります。(実施要領に特定の記載のある課目は除く)
- ⑫指導手が課目や実施要領を間違えた場合は、減点の対象となります。ただし、課目の作業前に審査員もしくはスチュワードに課目順を質問することは問題ありません。

7 入 賞

(1)各部の審査終了後、審査員長により、理事長賞審査が行われます。

(2)理事長賞決定競技の実施要領が以下のように変更となります。

- ①規定課目1課目及び選択課目4課目、合計5課目で実施します。
規定課目…(1)紐無脚側行進
選択課目…(1)紐付脚側行進(2)停座及び招呼(3)伏臥(4)立止
(5)常歩行進中の伏臥(6)常歩行進中の停座
(7)常歩行進中の停座及び招呼(8)常歩行進中の伏臥及び招呼
- ②選択課目については、8課目の中から当日の審査員長が4課目を決定します。
- ③実施する5課目の順番は、審査員長が予め決定し、全犬同じ課目順で実施します。
- ④選択課目及び実施順番は、当日の朝に発表します。

(3)各部各クラス1席より5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

8 トレーニング(T. CH.)並びにグランドトレーニング(G. T. CH.)登録制度

- (1)家庭犬中等科・準高等科・高等科・服従スペシャル・足跡追及他臭の部において95%以上の得点を得た犬、臭気選別他臭の部で4回中3回以上成功した犬、オビディエンスⅠ～Ⅲで80%以上の得点を得た犬にトレーニングチャンピオン(T. CH.)ポイント7Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)・東西日本トライアル10P
ブロック訓練競技会7P、クラブ訓練競技会5P

また、オビディエンスビギナーⅡで80%以上の得点を得た犬にはトレーニングチャンピオン(T. CH.)ポイント3Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)・東西日本トライアル5P
ブロック訓練競技会3P、クラブ訓練競技会2P

なお、家庭犬初等科・足跡追及自臭の部において95%以上の得点を得た犬、臭気選別自臭の部で4回全て成功した犬、オビディエンスビギナーⅠで80%以上の得点を得た犬にはトレーニングチャンピオン(T. CH.)ポイント2Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)・東西日本トライアル3P
ブロック訓練競技会2P、クラブ訓練競技会1P

- (2)トレーニングチャンピオンポイントのうち、家庭犬準高等科、家庭犬高等科、服従スペシャル、臭気選別他臭の部、足跡追及他臭の部、オビディエンスⅠ～Ⅲは、メジャーポイントになります

(3)トレーニングチャンピオン(T. CH.)資格の取得と登録

- ①トレーニングチャンピオンポイント(T. CH. P.)を20ポイント以上取得した犬に与えられます。ただし、取得した20ポイントのうち2枚以上は5ポイント以上のT. CH. ポイントでなければなりません。
- ②T. CH. 取得に際しては、CDⅡ以上(GD、IGP、BH、OBを含む)の訓練試験資格の登録をしなければなりません。

(4)グランドトレーニングチャンピオン(G. T. CH.)資格の取得と登録

- ①G. T. CH. の資格条件は、T. CH. P. を60ポイント以上有する犬に与えられます。ただし、メジャーポイントを1枚以上取得していることと、T. CH. の登録を期限内に申請していることが条件となります。
- ②仮に24ポイントで、トレーニングチャンピオン登録を行った場合、残り36ポイントでグランドトレーニングチャンピオンの資格条件が与えられます。

(5)登録料は、T. CH. が3,500円、G. T. CH. が6,800円です。

- (6)チャンピオン登録を行いますと、チャンピオン証明書が贈られ、血統証明書にT. CH.、G. T. CH. の称号が印字され、その名誉が永久に記録されます。

(7)トレーニングチャンピオン、グランドトレーニングチャンピオン登録に際しては、当該犬のDNA登録が必要となりますので、ご注意ください。

2024 ST連合会西日本訓練競技会

※2019年9月1日より、服従スペシャルと重複出陳可能なクラスが変更となりました。これに伴い、従来と比較して部立てが一部変更となりましたので、競技クラスのお申し込み間違いにご注意ください。

訓練競技会規程を承認の上、出陳料を添えて申込みいたします。 ※競技クラス1つにつき1枚です。

競技クラス	第	部	指導手	アマチュア ・ 一般		公開訓練試験	科目() ・ B H
	※ラリーオビディエンスⅠは右記のサイズを選択して下さい。		スモール・ミディアム		ラージ		

公開訓練試験 申込みについて	・ 本申込書…1枚	※注：JKCホームページより受験課目の用紙をダウンロード
	・ 訓練試験受験登録申請書（※注）…2枚	https://www.jkc.or.jp/
上記、計3枚に記入し、受験料を添えてお申し込みください。		またはJKC本部より取り寄せてください。技術事業課 TEL 03-3251-1656

出陳犬	犬種 (正式名称)	性別															オス ・ メス	
	ジャーマン・シェパード・ドッグ、ダックスフンド、チワワ等毛種にバラエティーのある犬種をご出陳の方は毛種もご記入ください。																	
	本犬名 (英字)																	
	本犬名 (カタカナ)																	
	JKC登録番号 (※1)	— /					生年月日 (※2)	年 月 日										
両親犬	父犬名 (英字)																	
	母犬名 (英字)																	
所有者	フリガナ	所属クラブ名																
	氏名	クラブ 会員番号															会費 期限	/
	〒 — TEL —	緊急連絡先 —																
	住所																	
指導手(※3)	フリガナ	所属クラブ名																
	氏名	クラブ 会員番号															会費 期限	/
	〒 — TEL —	緊急連絡先 —																
	住所																	
	所属訓練所名（所属先がない場合、ご記入は不要です。）																	公認訓練士資格
申込責任者 欄取扱者	氏名	印															E-Mail	
	〒 — TEL —	緊急連絡先 —																
	住所																	

○上記申込責任者は、出陳に関する照会先、取りまとめの責任者となります。無記入の場合は所有者が申込責任者となります。
○申込締切後、又は当日申込、ファックスでの受付はいたしません。
○この出陳申込書に出陳料を添えて申し込んでください。出陳料のないものは、受け付けられません。
◆JKC登録犬は必ず血統証明書に記載されている本犬名、登録番号をご記入ください。
◆審査後に出陳目録掲載事項に記載漏れや本犬が特定できないような誤りがあった場合、入賞が取り消されることがあります。
◆出陳目録には、当該犬のデータの他に所有者名並びに所在地（都道府県・市区）が掲載されます。
※1. 「交雑犬」「本会の非公認犬種」「本会の非公認団体登録犬」については「家庭犬準初等科」「特別犬の部」「オビディエンスビギナーⅠ～Ⅱ」に限り出陳できます。「家庭犬準初等科」「特別犬の部」「オビディエンスビギナーⅠ～Ⅱ」を除き、申込締切日においてJKC登録番号のない犬（単犬登録申請中を含む）は出陳できません。
※2. 生年月日の確認は必ず行ってください。
※3. JKCのクラブに入会されていない方が指導手の場合、その家族の所有犬に限り出陳できます。本会の公認訓練士の助手であっても、本会のクラブ会員でなければなりません。

受領印